

かんがい供給区域の節水努力で乗り切る

～白川ダム建設以来最低水位を記録～

- 最上川ダム統合管理事務所が管理する白川ダム(飯豊町)では、8月22日に開催した最上川水系渇水情報連絡協議会(幹事会)をうけ、利水者と調整した結果、かんがい供給区域の利用者による15%の節水努力によりかんがい期を乗り切れる見込みとなりました。
- 8月30日(木)に再度利水者と調整し、より有効な水利用に向けて対応を協議します。

【現状と今後の見通し】

- ・白川ダムの8月23日9時現在の貯水位標高314.85m(最低水位標高312m)、貯水率24.2%です。(参考:平成6年8月渇水時の貯水位標高315.04m)
- ・現在、著しい取水障害は発生していません。
- ・現在の水利用では8月末で白川ダムが最低水位に達する見込みにより、水稻の登熟期を迎えている白川ダムのかんがい供給区域(飯豊町、川西町、長井市にまたがる農地約4800ha、農家約2600戸)及び水道供給区域(飯豊町供給人口約7300人)において、必要な水の確保に向けての調整を行いました。
- ・現在のかんがい取水量から約15%節水(約5.3m³/s →4.5m³/s)することにより、かんがい期間(9月8日)までは白川ダムからのかんがい用水の供給は可能となる見込みです。
- ・引き続き、利水関係者との情報共有した内容をもとに、必要な水の確保に努めます。

【発表記者会:山形県政記者クラブ】

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 最上川ダム統合管理事務所
山形県西村山郡西川町大字砂子関158
副所長(技術担当) 荒木 勝彦(内線204)
管理課長 三原 金吾(内線331)
電話 0237-75-2311(代表)

国土交通省 東北地方整備局 山形河川国道事務所
山形県山形市成沢西四丁目3-55
副所長(河川担当) 高橋 孝男(内線204)
河川管理課長 田村 公仁(内線331)
電話 023-688-8421(代表)

【置賜白川の状況】

(過去5ヶ年(H19~H23)平均濁水流量及び現在の状況)

・下屋地観測所	5ヶ年平均	2.07m ³ /s	→	8/23 9時現在	0.72m³/s
・広河原観測所	〃	1.2m ³ /s	→	〃	0.89m³/s
・手ノ子観測所	〃	2.36m ³ /s	→	〃	1.96m³/s
・椿観測所	〃	4.43m ³ /s	→	〃	2.04m³/s

※観測所の位置については、別紙1を参考にして下さい。

【白川ダムの状況】

1. 白川ダムの降雨状況・体制

白川ダム流域平均雨量(mm)

	過去5ヶ年平均	平成24年	過去5ヶ年平均比
7月	225	175	77.7%
8月	225	45	20%

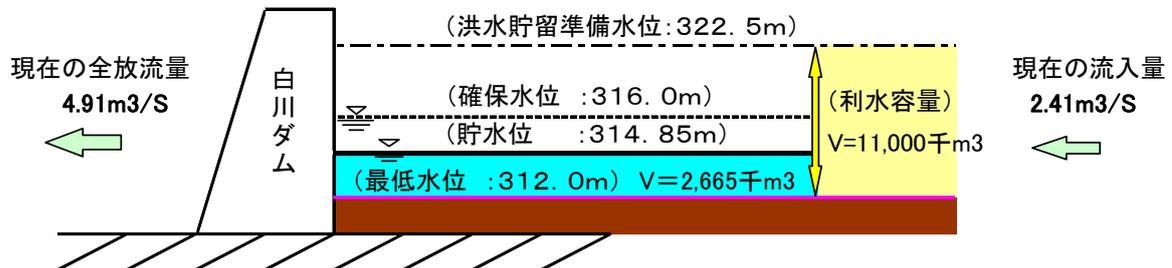
※平成24年8月は、8月21日現在

2. 白川ダム貯水状況

貯水状況及び、流況は以下のとおりです。

白川ダム (平成24年8月23日9時現在)

貯水水位	: 標高 314.85m
確保水位	: 標高 316.0m
最低水位	: 標高 312.0m



○貯水位 標高 314.85m

- ・確保水位(利水目的に支障を与えないために確保する高さ 標高 316.0m)より **-1.15m**
- ・最低水位(ダムの貯水を利用する利水運用で想定している最も低い高さ 標高 312.0m)より **+2.85m**

○貯水量 V=2,665千m³

- ・洪水期利水容量(洪水を考慮した、使用可能な容量V=11,000千m³)の**24.2%相当**

○流況

- ・流入量 Q=2.41m³/s (日平均 : Q=2.11m³/s)
- ・全放流量 Q=4.91m³/s (日平均 : Q=4.91m³/s)

白川ダム貯水池状況写真（平成24年8月23日現在）



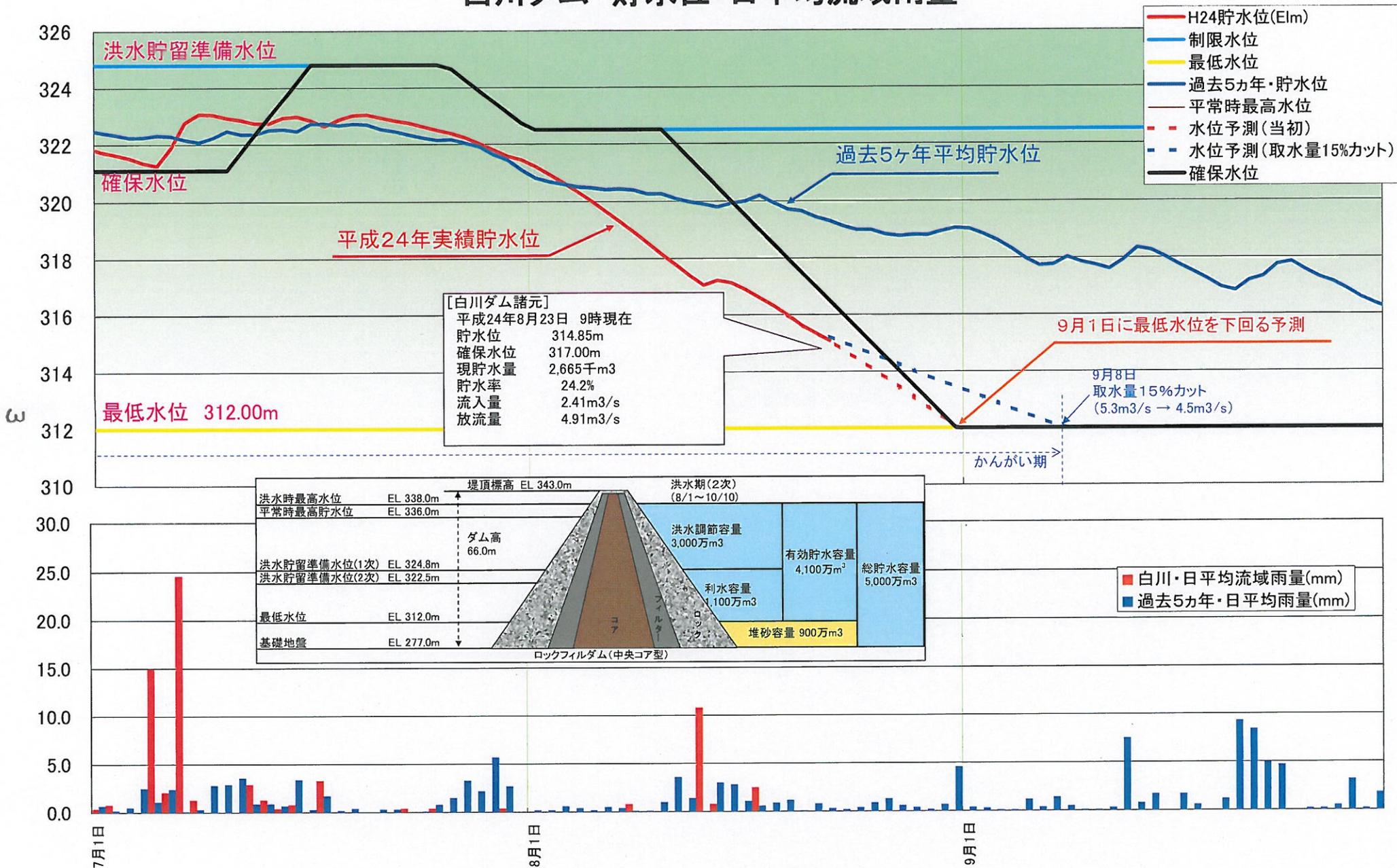
置賜白川 手ノ子観測所付近



置賜白川 椿観測所付近



白川ダム 貯水位・日平均流域雨量



白川ダム流入量状況(7月~9月 日平均)

